



七夕のお話（中）



みなさん、こんにちは。今日は「七夕」のお話です。

7月7日の夜は、天の川をはさんでいつもはなればなれの「ひこ星」と「おり姫」が、年に1度だけ会うことができるという日ですね。今日は、七夕の過ごし方をお話しします。1つ目は、笹の葉に、願い事を書いた短冊を飾り付けましょう。これは、習い事をする人や寺子屋で学ぶ子どもが増えた江戸時代から始まりました。まじめで働き者の青年の「ひこ星」と、織物の上手な「おり姫」にあやかり、習い事の上達や、将来の夢をお願いしたり、「おり姫」や「ひこ星」のように「よい出会いがありますように」と願いをこめたりして、短冊を書きます。

次に、「そうめん」を食べましょう。そうめんは、小麦粉から作られます。小麦が無事に収穫できることへのお礼と、そうめんを天の川や、おり姫がつむぐ糸に見立てて食べます。

そして、最後に星を眺めてくださいね。

今日の給食には、七夕をイメージしたゼリーが出ます。「ひこ星」と「おり姫」の願いと、皆さんの願いがかないますように。